

イベント

いずれも無料

イベント	とき	ところ	内容	対象
かぞぐるまのおはなし会	2月14日(土) 10時30分～	本館	おくりものはなにに？	小学生以下
おはなし会	2月21日(土) 10時30分～	中部分館	おいしいものなあに？	
	2月22日(日) 10時30分～	南部分館	にゃんにゃんにゃーご	
おひざにだっこのおはなし会	2月5日(木)、19日(木) 10時～10時15分、 10時30分～10時45分	本館	読み聞かせやわらべうたを行います。	就園前
	2月4日(水) 10時30分～	中部分館		
	2月10日(火) 10時30分～	南部分館		
絵本の時間	2月13日(金) 10時30分～	本館	絵本の選び方や読み方、わらべうたなどを行います。	1歳未満
	2月6日(金) 10時30分～	中部分館		

全共通

定 各館へ問い合わせてください 申 不要

司書オススメ!
今月この1冊

「馬」が動かした日本史 蒲池明弘／著 文藝春秋



新年明けましておめでとうございます。今年は「^{うま}午」年。今回は漢字が異なりますが「馬」に関する資料を紹介します。

馬は現代では競馬・馬術などのレジャーやスポーツ、地域の祭や行事・パレードなどで活躍し、人類のパートナーとして愛されています。本書では、馬は「『戦』に勝つための手段」のひとつとして日本に持ち込まれたという視点で、古代から武士の時代が終わる幕末まで、歴史に与えた影響が述べられています。

戦に用いる馬の生産や飼育には馬産技術に加え「広大な土地（場所）」「えさ（草）」が必要不可欠という考えから、それらを備え、拠点とした者が力をつけていき、畿内での巨大古墳の造営、平将門の乱、鎌倉の武家政権誕生という日本史中世までの力による支配の要因のひとつとなった可能性が述べられています。このような視点で日本史を見ることは珍しく、興味深く読むことができます。

また、馬産に適した気候や地質などの考察もあり、歴史書というより全体的には地理学・地質学的な内容となっています。こんな干支にちなんだ一冊いかがでしょうか。

お知らせ

紙大相撲初場所

問 図書館中部分館 ☎41-1980

本を借りた幼児・小学生と図書館職員が紙相撲で対決。勝っても負けてもプレゼントがあります。

時 1月4日(日)～12日(月) 所 図書館中部分館

対 小学生以下

不要雑誌・リサイクル本の無料配布

問 図書館本館 ☎41-0894

保存期間の過ぎた雑誌を1人5冊、リサイクル本を1人3冊まで無料で配布します。

時 1月31日(土)～2月8日(日) 9時～17時

所 図書館本館